

第二回定例学習会が開催されました



2019年9月21日（土）定例学習会の講師は、むつみホスピタルの医師—中村公哉先生と、相談支援事業所「仁栄会」の山田憲先生でした。

中村先生は発達障害の特徴、行動や特性について分かりやすく説明していただきました。発達障害の方の特性は、0か100か、白か黒かと両極端な考え方を

する部分や、イメージーションの弱く、新しいことが苦手なこと、行動にこだわりがあることを知りました。信頼関係を作る方法は、本人の好きなことを介して関わっていくこと、好きなことをいかに入れ込むかで、大人とコミュニケーションを図り、大切なことはキーパーソンとコミュニケーションを上手く取ることだと知りました。心理的に安心、安全であること、身近な大人により受容・慰め・癒しが子供の自責感を強めていくのだと思いました。怒らないように子供を好きになること、長所に注目し、褒めることが心の安定に繋がることを知りました。



山田先生は支援者としての心得や大切なことを教えていただきました。方法として①大



きくうなずく②軽く相槌③首をかしげる等、相槌を大切にし、具体的支援や声かけ方法を教えていただきました。保護者の対応として、事実と感情を分け、話を聴こうとする姿勢で保護者のガス抜きをさせてあげること、深く掘り下げていくこと、子供にプラスの視点で関わること、当たり前のことを見つけることで保護者と一緒に関わり方を変え、期間を決めてあげる。その頑張りの成果を保護者に伝え、保護者と子供が成長していることを伝えると具体的対応について学びました。今後の支援や関わり方に生かして行こうと思います。